



# ご 報 告

前回に引き続き、皆様からお預かり致しました、

**【ねこちゃん募金】**を今回は《公益財団法人どうぶつ基金》に  
寄付させて頂きました。



**第3回 寄付金：10,000円** (募金 7,907円+ルッツ 2,093円)

第2回 10,000円 (2017.2.16)

第1回 10,000円 (2016.7.20)

一匹でも小さな命が助かりますよう、殺処分ゼロを祈ります。

公益財団法人 どうぶつ基金 *doubutukikin since 1988*

今回の寄付をする 毎月の寄付をする

**6分に1頭**  
罪なき命が殺処分される。

保健所に持ち込まれる猫の約7割は、産まれて間もない子猫です。

今回の寄付をする 毎月の寄付をする

保健所に持ち込まれる迷い猫の約7割は産まれて間もない子猫です。どうぶつ基金では殺処分前に保護所から犬や猫を救出し新しい家族を見つける活動の支援をしています。 ولكنه、新しい家族に迎えられれる数はたった1頭。とても悲しいことです。ほとんどは殺処分されます。殺処分の方法は残酷です。非難まどうぶつたちは大変苦しんでいる状況に陥ります。だから、ちとちと助けたい。一日も早く殺処分ゼロの日本にしたいです。

**不妊手術** 人と猫が共生しながら 殺処分ゼロを実現する

殺処分ゼロに本当に必要なこと

保健所に持ち込まれる迷い猫の約7割は産まれて間もない子猫。そしてり酷い猫たちはカスミなどで殺処分されます。少額**無料**不妊手術「さくらねTNR」は保健所に持ち込まれる猫の数を確実に減少させます。今までに約**3万5千頭**のさくらねこがうまれました。その甲斐もあって平成18年に**2.3万頭**だった全国の猫の殺処分数は**6万頭**まで、**7.0%**も減少しました。

**さくらねこ**

「さくら目」は不妊手術のしるしです。日本のいろんな地域で、猫たちがふえすぎて迷惑をかけるないように、ボランティアさんや獣医さんに連れて不妊手術をしています。この手術の時、麻酔にV字にカットして、さくら目に耳先を根の花びらみたこれが不妊手術のしるしとなります。もししるしがないと手術済みの猫がもう一度捕まらされて麻酔や開腹手術を2度される危険があるのです。

“小さな命を救うために、あたたかいご支援をおねがいします。”

**どうぶつ基金とは**

公益財団法人どうぶつ基金は、犬や猫とヒトが共生できる社会を目指して、1988年からコツコツと活動を続けてきました。保健所で殺処分される犬や猫をゼロにするために、全国で**約35,000頭**の猫の**無料不妊手術**を行ったのはじめ、保健所で殺処分になる寸前に犬や猫の命を救うNPOの活動支援を行っています。

**一頭でも多くの命を助ける**

猫の家庭とてはやされ、人口よりも多くなった島。猫が過剰に繁殖して野生化しゴミ屋敷になったアパートの一室、**猫の過剰繁殖**は、あとを絶やしません。強制退去のあとに残された罪なき猫たちは、**殺処分という最悪の末路**しかありません。2015年、日本では6万頭以上の猫が殺処分されました。地域のスライルをストップするために、**すべての猫に不妊手術**をしてあげることが解決策です。



2017.10.6  
ビリヤード オレンジ